



子育て支援センターだより

子育て支援センター ☎52 2315

あたり一面すっかりと白い雪におおわれて、いよいよ冬本番を迎えました。この季節は、色々な病気にかかりやすい時季でもあります。十分な手洗いとうがいをして予防してください。

10月28日(日)に保健福祉センターみなくるにて幾寅保育所第34回目のお遊戯会が行われ、子育て支援センターを利用してくださっている親子の皆さんも参加して、手遊びを3つ行いました。日曜日という事もあり全員参加とはなりませんでした。8組の親子の皆さんが舞台に立ち、お子さん達も泣いたり、嫌がる事もなく上手に手遊びを披露していました。本番に向けての練習は、にこにこ学級・親子遊びの広場・育児サークルでしかできず、また、この時季は風邪も流行してなかなか遊びに来れないお子さんもいて、十分な練習にはなりませんでした。8組の親子の皆さんは、元気に手遊びを披露してくれました。

お遊戯会に参加したお子さんは、何をしたか忘れても、拍手をもらって嬉しかったことや舞台に立って披露したこと、緊張したこと、自分は出来るんだという自信がついたことなど、この経験はこれからも忘れないでしょう。

お遊戯会のような経験は、これから先小学校・中学校に入っても続きます。

幼児期に経験したこともこの先、心に残っていき大人になっていきます。今回、舞台に立ち披露したことがお子さんにとっても、お母さん方にとっても自信に繋がっていけば良いと思います。舞台の上で泣いて出来なくても「どうしてしないの。」と悲観的になって問いつめず「びっくりしたね。」「怖かったね。」「舞台に立ててすごかったね。」とお子さんの気持ちになって代弁しフォローをしてあげてください。そうすることで小さな自信が生まれてきますので、暖かい気持ちでお子さんを見守ってください。

保育所の元気な子ども達

幾寅保育所

11月6日(火)敬老会がみなくるで行われ、ひまわり組の14名がお遊戯を披露しました。子ども達は2組に分かれてお遊戯を上手に踊り、大勢のおじいちゃん、おばあちゃんからは拍手喝采。子ども達にとっても、楽しいひとときでした。



金山保育所

10月21日(日)第34回お遊戯会を開催しました。10名の子ども達は覚えたお遊戯・歌・器楽など楽しそうに踊ったり歌ったりして可愛い姿を披露していました。また、父母の皆さんによる創作劇なども行われ、楽しいお遊戯会となりました。

